

谷口まさのり

所沢市政レポート

2019年12月議会
／その他 編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111/FAX：04-2941-5112/tani.eco@dream.ocn.ne.jp

F B、ツイッター更新中!『谷口 雅典(まさのり)』で検索下さい!

「始発男!」は
子どもにツケを
残さない!



- ①「地球過熱化!」時代における、「ゼロ炭素社会」(CO2排出実質ゼロ)への挑戦を取り上げる!
- ②保育園施設周辺での交通事故防止の「キッズゾーン」の設定を提言!
- ③台風・ゲリラ豪雨等の際のツイッターの更なる活用について提言(市民側からの情報収集)
- ④小学生の通学路等での交通安全対策で汗をかかせて頂いております... (今回は一例で路面標示)

我々、大人は「地球温暖化問題」に対して、どう行動すべきか???

◆どうする?「ゼロ炭素社会」(CO2排出実質ゼロ)への挑戦!

(一般質問の要旨) 詳細は市議会HPご参照を



←始発男!の谷口

9月の国連気候行動サミットでのスウェーデンの16歳少女グレタ・トゥーンベリさんの訴えは強烈なインパクトを残した。「地球温暖化(気候変動)問題」は日本国を超えた地球レベルの課題であるが、実際にアクションに移すのは市民・国民という個人レベルになってくる。所沢市としては、今後の「ゼロ炭素社会」の実現に向けたシナリオをどう描いているのか?

担当部長

2019年3月策定の「所沢市マチごとエコタウン推進計画」におき、具体的にはメガソーラー所沢の設置、事業所・家庭への再エネ・省エネ機器・電気自動車・燃料電池自動車の普及推進、「ところざわ未来電力」を通じたCO2係数の低い電力普及等、「脱炭素社会」の実現に向けた取組みを行っている。また前例にとられない社会の変革が必要であると認識し、市内事業者・市民の皆様とも協同し、新しいチャレンジを模索したい。



①石炭、石油、天然ガスといった化石燃料に頼る時代から出来るだけ早く移行しなければならぬ。このような中で、先ずは電力分野において、所沢市内で更に自然エネルギーの普及をスピードアップさせる為に何をどう取り組むべきと考えるか?

②「太陽光発電ゼロ円システム」(太陽光発電設置の初期費用をメーカー・施工業者・電力小売り事業者等が負担するモデル)が自然エネルギー普及の為に有効な方法と確認できれば、市として、実例を紹介して後押しするなど、何らかの関与をしても良いのでは?

担当部長

①市として、市民等に対し、スマートハウス化推進補助金制度を設けて、太陽光発電設置を推進、また「ところざわ未来電力」を通じての公共施設や民間事業者への電力販売開始、更に今後、一般家庭への電力販売も検討している。市民の皆様にご協力頂くことが第一歩と考えている。

②「太陽光発電ゼロ円システム」は効果的な取り組みの1つとして認識している。このため、このモデルを持つ事業者・電力小売り事業者・メーカー等とどのような仕組みを作るのが、所沢市にとって適切なのか、現在、効果や課題を検討しているところである。



所沢市として、地球温暖化問題に対しての危機感を広く発信する為に

「**気候非常事態宣言**」自治体*に名乗りを上げてはどうか？

* 欧米等を中心に世界の 1, 2 1 2 自治体が宣言。

日本では長崎県壱岐市他（質問時）

担当部長

①所沢市は2019年2月に「世界首長誓約／日本」に署名し、内外に気候変動に積極的に取り組むことを宣言している。実は8月に市長より（今回、谷口が提案した）「気候非常事態宣言」にどう対応していくか投げかけられたが、まずは「世界首長誓約」に注力していく方針である。

谷口は地球温暖化問題については大きな流れを起こす為、今後も積極的に動いて参ります！

保育園施設の周辺での交通事故防止の「キッズゾーン」設定を提言！（散歩時リスク）

昨年5月に滋賀県大津市で散歩途中の園児・保育士に車が突っ込み、2名の保育園児が死亡し、園児・保育士14名が重軽傷といった大変痛ましい事故が起きてしまいました。その後、大津市では「キッズゾーン」（写真は一例）設定が開始され、**私、谷口は所沢市でも散歩中の交通事故を防ぐ為、運転者に対しての注意喚起を行う「キッズゾーン」を含む安全対策の強化を提言致しました。**



台風・ゲリラ豪雨等の際の「ツイッター」活用の奨励・推進について（市民側からの能動的情報収集）

昨年10月の台風19号などにより、日本各地で甚大な被害が発生し、所沢市でも床上・床下浸水などの被害により、多数の市民の方々が学校などに一時避難を余儀なくされました。台風やゲリラ豪雨等の際はテレビからの情報や所沢市等からの公式的な情報を頼りに避難するといった、自らの命を守る行動を取る必要がありますが、川の増水などの災害予兆や正に現地で起きていることをリアルタイムに市民が情報を収集する手段として、「ツイッター」の更なる活用の推進を提言致しました。



➡（部長答弁）ツイッターは情報伝達の手段として有効。**今後の「防災に関する出前講座」ではツイッター活用での情報収集の内容を加えて周知啓発を行いたい。**

改善されました！（一例として路面標示）

日頃より交通安全対策に関して、市民の皆様から情報を頂く等して、「道路の穴ボコの補修」「カーブミラーの改善」「路面標示の改善」などにも動いております。今回、**若狭小学校の通学路（若狭4丁目）**に関し、地域の方より、『交差点で「止まれ」の路面標示が消えていて、車が一時停止をしないことが多くて・・・』とのご連絡があり、私の方で現場を確認し、市役所担当課に情報を伝え、改善に至ることができました。



谷口まさのり プロフィール

- ◆ 1965年（昭和40）北海道生まれ（留萌市）埼玉大学工学部 環境化学工学科卒業
- ◆ 環境や省エネ企業に15年間在籍・1997年の『地球温暖化防止 京都会議』に参加
- ◆ 2011年4月所沢市議選に初当選、2019年5月より3期目がスタート。

現在、無所属『改革派！』として活動中！

- ◆ 趣味等：スポーツ（西武ライオンズファンクラブ会員）、カラオケ、カブトムシ採り、大のビール党、日課はメダカのエサやり◆環境カウンセラー（環境省資格）/社会保険労務士（年金と雇用の関連資格）/認知症サポーター
- ◆ 狭山ヶ丘駅は朝5時から、小手指駅は朝4時40分から活動中！

『始発男！』『始発の谷口』と呼ばれております。



始発！前から、駅では原則、レポートを配布しております！